

はじめに

農地は、安全で安心な農産物を供給する生産の場であるとともに、貴重な緑地空間として、また、災害時の避難場所となるなど、様々な役割を兼ね備え市民にとってかけがえのないものになっています。

ただ、その一方で、市街化の進行や担い手、後継者不足など農業を継続していくには、とても厳しいものになっています。

このような状況の中で、西東京市では、貴重な農地をこれからも残していくために「西東京市都市と農業が共生するまちづくり協議会」を設置し、農地保全を第一に、西東京市での現状や課題を踏まえ、どのようにすれば農地を残す事が出来るかを中心に検討してきました。

この「西東京市都市と農業が共生するまちづくりモデルプラン（案）」では、農業者と市民、行政などが協力して、農地の持つ多面的機能を発揮できる地域を定めそれぞれの地域の特色を活かしながら、展開案が示されています。

今後は、このモデルプラン（案）に基づき農業者と市民、行政などが協力して実現に向けた検討を進めていく予定です。